令和２年度第１４回 地域連携推進機構運営会議
議事要旨

日　時：令和３年１月１４日（木）　１０：００～１０：３８
場　所：第一会議室
出席者：牛窪 潔（機構長）、竹村 明洋（副機構長）、柴田 聡史（地域共創企画室 准教授）、小島 肇（地域共創企画室 准教授）、島袋 亮道（地域共創企画室 特命准教授）、畑中 寛（地域共創企画室 特命准教授）、満尾 俊一（総合企画戦略部長）、仲里 隆司（総合企画戦略部 地域連携推進課長）
欠席者：背戸 博史（地域共創企画室）
陪席者：崎山 英樹（課長代理）、金城 まなみ（企画係長）、赤嶺 雅哉（地域連携推進係長）

※審議に先立ち、１２月１７日開催の第１３回運営会議の議事要旨案について確認があり、了承された。

＜審議事項＞
議長から、次の３件の事項について審議を行う旨提案があり、説明の上、審議を行った。

１．地域連携プラットフォームについて
牛窪機構長から、資料（審議１）に基づき説明があり、１月中には案を文章化し、２月以降関係機関との調整を進めていきたい旨の発言があった。
引き続き、小島准教授から、地域連携プラットフォームについて沖縄経済同友会と意見交換したことについて報告があり、今後、沖縄経済同友会ひとづくり委員会の勉強会においても意見交換していきたい旨の発言があった。
本件については、次回も引き続き議論していくこととなった。

２．令和３年度年度計画（案）について
崎山課長代理から、資料（審議２）に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

３．国立大学法人琉球大学、沖縄セルラー電話株式会社及びＫＤＤＩ株式会社との包括連携に関する協定書（案）について
仲里課長から、資料（審議３）に基づき、説明があった。
引き続き、竹村副機構長から、沖縄セルラー社との打ち合わせた内容について説明があり、審議の結果、提案のとおり了承され、この協定書案を沖縄セルラー社へ送り、確認してもらうこととなった。

＜報告事項＞

１．令和２年度地域連携推進機構予算執行状況について

仲里課長から、資料（報告１）に基づき報告があり、計画的な執行について呼びかけがあった。

２．令和２年度 ポストコロナ社会実現研究プロジェクトについて

牛窪機構長から、背戸室長を研究代表者とするプロジェクトが令和２年度ポストコロナ社会実現研究プロジェクトに採択された旨の報告があり、引き続き、柴田准教授から、資料（報告２）に基づき研究計画について説明があった。

３．就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業について

仲里課長から、資料（報告３）に基づき、文部科学省総合教育政策局から令和２年度文部科学関係第３次補正予算（案）にて予算措置される就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業の公募予告があった旨の報告があった。